

重点政策 I <脱炭素社会>

「知床」の町として、  
脱炭素社会にふさわしい地域づくり

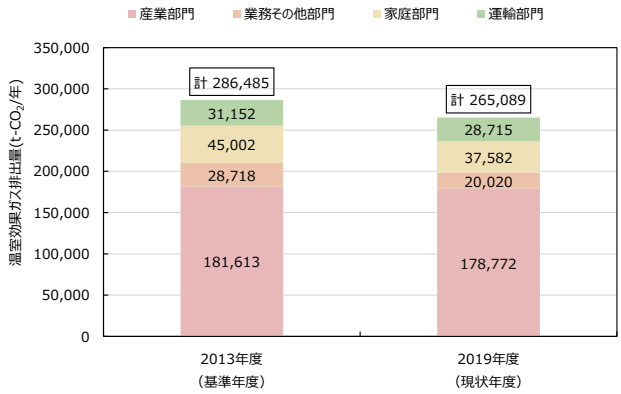
【現状と課題】

2015 年に採択されたパリ協定を契機として、全世界において脱炭素の取り組みが加速化し、日本においても地球温暖化対策計画で「2050 年カーボンニュートラル」が宣言され、2030 年度までに温室効果ガスを 46%削減することが目標として掲げられています。

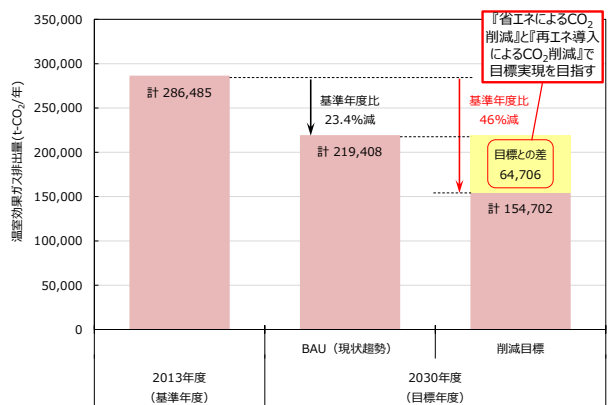
斜里町は、2018 年 11 月に地球温暖化防止実行計画(事務事業編)を策定し、町の事務事業に起因するCO2排出量の削減に努めてきており、COOL CHOICE普及等、広く町民に対して気候変動対策の啓発に取り組んできました。

また、令和 4 年 3 月に当町は「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。豊かな自然資源とともにある地域の優位性を評価し、それを活かした脱炭素社会構築への取り組みが強く求められており、「ゼロカーボン」の実現に向けて、斜里町再生可能エネルギー導入戦略に基づき、町民・事業者・町が協働して地球温暖化対策に関する具体的な施策を推進していく必要があります。

【主要関係データ】



斜里町における温室効果ガス排出量の現況



斜里町における二酸化炭素総量削減目標

【達成目標】

基準年度を 2013 年(平成 25 年)度として、2030 年(令和 12 年)度までに 46%以上の CO2 排出量を削減を目指し、さらに 2050 年(令和 32 年)度までにカーボンニュートラルを実現すること

<説明>

脱炭素社会の実現に向けて、まちづくりの推進と併せて再生可能エネルギーの公共施設などへの優先

した導入・活用とともに、産業分野を含め徹底した省エネルギー・省資源、地産地消の拡大に取り組みます。施策については、環境・社会・経済それぞれの視点から評価指標を検討します。

## 【実現のための単位施策】

### ○推進体制づくり

- ゼロカーボンパークの実現に向けた取組の推進<1-1-1>
- 再生可能エネルギーの導入<1-2-1>
- 省エネルギーの推進<1-2-1>
- 環境教育の推進<1-2-1>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
公共施設への再生可能エネルギー導入施設による CO2 削減率	0(基準)		
小中学校における環境教育事業の実施率			100%以上

### ○自然環境の保全管理

- 100 平方メートル運動の森・トラストの推進<1-1-3>
- 町有林の適切な管理<2-2-3>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
しれとこ森の集い参加者数	104 人	150 人	160 人

### ○産業分野における取り組み

- ゼロカーボンに向けた次世代農業の推進<2-1-2>
- 交通 MaaS の推進<3-2-4>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14

### ○持続可能な社会基盤づくり

- 社会基盤の適正な管理<3-4-3>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
指定避難所の非常用電源設備等の整備数	5 施設	5 施設	8 施設

## 【関連する主な計画】

- 環境基本計画(R6-R10)
- 再生可能エネルギー導入戦略(2023-2030)
- 地球温暖化防止対策実施計画(区域施策編)

## 重点政策2 <子育て・子育て>

# 育む力・生きる力を支え育てる地域づくり

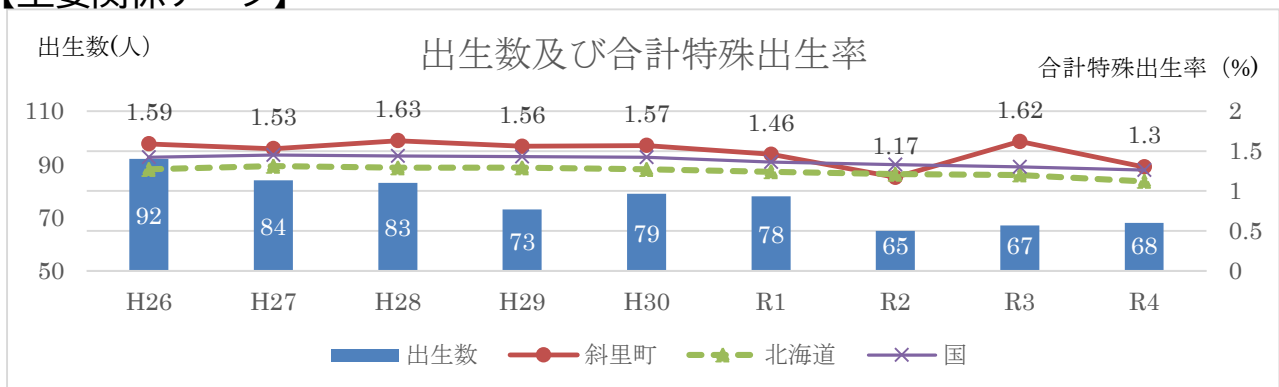
### 【現状と課題】

子どもを産み育てやすいまち、子育てに喜びを感じられ、子ども自身が明るい未来に希望を持てるまちは、活力ある魅力的なまちの土台であり、新たな人の流入にも繋がります。

少子化、ライフスタイルの変化、コミュニケーションのあり方が急速に変化する中、斜里町でも子どもや子育て家庭の孤立化、子育てにおける課題の複雑化は顕在化しており、乳幼児期の教育・保育環境整備、ワンストップ窓口による子育て支援の充実、困り感を持つ子どもへ寄り添う体制づくりなど、地域で重層的に支えていくことが求められています。

また、一人ひとりの子どもの自ら学び考える力、豊かな人間性などの「生きる力」は、子どもがより良い未来をつくり出す基盤といえ、幼児期を出発点とする「幼保小中高連携」の学びや、子どもの年齢と成長に応じた様々な体験、人的交流等による子どもの育ちを地域全体で温かく包み、育む取組が大切です。

### 【主要関係データ】



### 【達成目標】

子育ての満足度 2.99pt を 3.5pt へ改善

<説明>

安心して子育てできる環境と子どもの健やかな育ちは保護者の満足度へ反映されるものと考えられ評価の視点とします。また、子育て関連政策は子育ての喜びや、学びの充実といった幅広い視点をもって展開することが必要といえ、福祉・保健・教育等、関係機関が連携し総合的に推進します。

### 【実現のための単位施策】

○幼児期教育・保育の充実

●乳幼児期の教育・保育環境の充実<4-4-1>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
待機児童数	5人	0人	0人

○子育て家庭への支援の充実

●子育て支援の充実<4-4-2>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
子ども家庭センターの開設	—	開設	維持

○教育環境の充実

●教育環境の充実<5-1-2>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
全国学力調査「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか？」で肯定的な回答 ・上段:小学6年/下段:中学3年	67.1% 57.6%	増加 増加	増加 増加

○地域資源の活用・連携

●子どもの育ちの支援の充実<4-4-3>

●学校・家庭・地域がつながる学びの推進<5-1-3>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
子育て関連事業のボランティア登録人数	38人	増加	増加
全国学力調査「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがありますか？」で肯定的な回答 ・上段:小学6年/下段:中学3年	67.1% 42.4%	増加 増加	増加 増加
幼保小中高及び小小連携事業の開催回数	2回	4回	5回

○子どもの主体的性と社会参加

●子どもの育ちの支援の充実<4-4-3>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
子どもが企画し実施する事業を行う施設数	2箇所	5箇所	増加

○専門職人材の確保

●人材確保・人材育成の充実<6-3-2>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
町の人材確保補助制度による採用者数(累計)	—	16人	20人

【関連する主な計画】

○第2期斜里町子ども・子育て支援事業計画(R2～R6年度)

○第6次斜里町生涯学習推進計画(R6～R10年度)

○第2期斜里町健康増進計画(H26～R5年度)

○第6期斜里町障がい者計画・斜里町障がい福祉計画、第2期斜里町障がい児福祉計画 R3～R5年度)

## 重点政策 3

## <健康>

# 心身ともに、健康に暮らし続けられる地域づくり

### 【現状と課題】

私たち町民の健康水準は、生活水準の向上、医療技術の進歩、公衆衛生等の社会保障の充実により、世界でも最高レベルに達しており、平均寿命は 81.9 年で世界最長となっています。

一方、物流の発展により多様化する食品の安全性の確保、移動の高速化に対応した広域な感染症対策、経済の低迷等による自殺増加等に対する心の健康対策、増加する生活習慣病への対策、高度化した医療の中の安全対策など、新たな健康課題も発現しています。

斜里町では、人口の 35%以上が 65 歳以上となり、これまでのロールモデルである「人生 65 年時代」の対応を続けていくことは限界にきています。

人口減少、高齢社会の到来、限界集落など、地域を取り巻く環境が大きく変わる中、町民が健康に暮らし続けるために「運動・食事・心の健康」を基本とする自立した日常生活を営み、生き生きと生活できるまちづくりに向けた取り組みが必要です。

### 【主要関係データ】

社人研推計による人口推移  
(グラフ+コメント)

【主要関係データ】  
データを1~2とコメント。他に情勢を掲載可能

## 【達成目標】

年を重ねるほど斜里は楽しい 2033年に斜里町民が実感できる

### <説明>

健康づくりの意識の醸成や、検診受診率を向上させ、入院患者や重症者数を減少させる取り組みを進め、医療費の抑制や要介護認定者の数を減らす取り組みを実践します。

また、各世代で運動やスポーツに触れる機会を増やし、健康寿命を75歳以上となるよう、元気な町を目指します。

☞高齢者も障がい者も“元気で働く”町になる。

・子どもから高齢者までスポーツを楽しみ、いきいきと働いている。

☞住む人が“親切”で支えあい、デザインを活用した見える町になる。

・親切をつくり支えあい、全ての世代に優しく使いやすくなる。

☞外出の支援が充実し、趣味や興味“文化”を楽しむ町になる。

・地域公共交通の充実やデジタルを活用したメニューが充実する。

☞“自然を愛し”生かした、運動を楽しむ町になる。

・自然環境を生かしジョギングやウォーキングのコースや施設が整備され、気軽に楽しめる。

☞元気な体づくりと、医療と連携した、住む人が“明るい”町になる。

・地域包括ケアシステムの構築や、健診結果を活用した健康づくりがサポートされ、検診メニューが充実し受診しやすくなる。

☞企業連携と外部講師の活用による、活力ある健康な町になる。

・職場に健康を増進する仕組みができています。

・健康イベントが盛り上がる。ウォーキングや体を動かすが増えた。

・イベント会場や公共施設等、身近な場所で体力測定や健康相談ができる。

### <現状>

気軽に運動する場所や機会、散歩が出来るような環境があると感じる町民の割合 3.60pt

心身ともに健康的な生活を送ることが出来ていると感じる町民の割合 3.57pt

体を動かしたり運動したりすることが出来ていると感じる町民の割合 3.41pt

医療機関が充実していると感じる町民の割合 2.40pt

日頃からスポーツ・運動を行っていると感じる町民の割合 2.33pt

## 【実現のための単位施策】

### ○住環境づくり

#### ●みんなが利用できる公園の整備<3-1-1>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
遊具の累計更新数	0基	2基	4基

○高齢者向けの講座の開催

●健康寿命の延伸 <4-2-1・4-2-2>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
健康寿命の延伸	男性 75.7 女性 82.9	78.0 84.0	80.0 86.0

○運動機会の提供

●健康づくりと運動の推進 <5-2-3>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
健康づくりの定着と機会の提供	5 講座	5 講座	5 講座

○趣味や興味に特化した繋がり形成

●地域公共交通の確保 <3-2-4>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
バス・ハイヤー助成			

○企業との連携

●地域を生かした学習活動の推進 <5-2-2>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
地域人材と連携交流の推進	4 講座	4 講座	4 講座

○専門職の配置

●人材確保・人材育成の充実 <2-5-1-6-3-2>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
専門職等の人材の確保	5人	5人	5人

## 重点政策4 <地域共生社会>

# みんなで参加し、人と人のつながりを実感できる地域づくり

### 【現状と課題】

人口減少や少子高齢化、人々の価値観や考え方、ライフスタイルの多様化など、社会構造の変化に伴い、地域福祉を取り巻く状況は大きく変化してきました。

様々な社会構造の変化は人々が関わり合いを持ち相互に支え合う機会の減少をもたらし、生活困窮、子どもの貧困、ひきこもり、孤独死や自死など、地域における生活課題・福祉課題を深刻なものにしています。

さらに、全国的に大規模な自然災害が多発する中、地域での支え合いの力が必要とされています。また、孤独や孤立に起因した子どもや障がい者、高齢者が犠牲となる痛ましい事件などを防ぐために、地域福祉が果たすべき役割はより重要となっています。

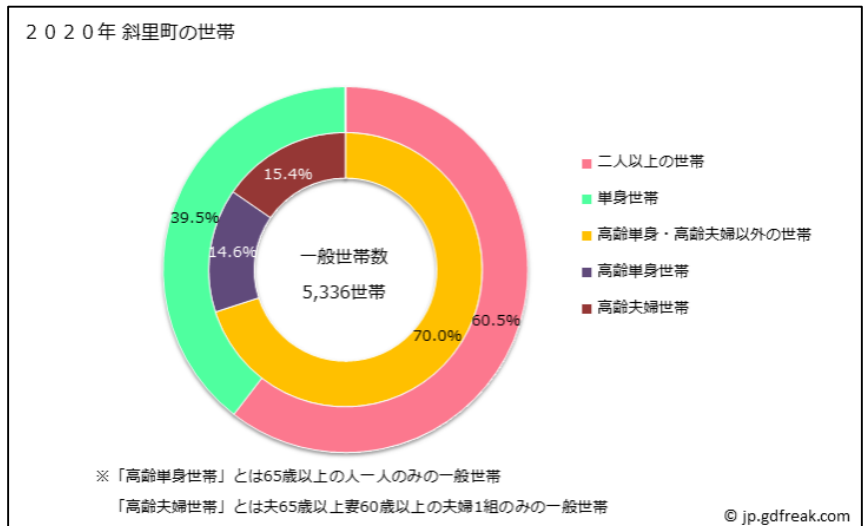
斜里町では、社会構造の変化を確実に捉え、福祉施策をさらに充実させることにより地域のあらゆる住民が役割や生きがいを持ち、支え合いながら住み慣れた地域で自分らしく活躍できる「地域共生社会」の実現を目指します。

### 【主要関係データ】

2020年国勢調査における一般世帯総数と単身世帯や高齢世帯などの割合

高齢単身＝779世帯

高齢夫婦＝821世帯



### 【達成目標】

孤立感や孤独感のない生活を送れている割合 3.57pt を 3.80pt へ改善  
(現状)

家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があると感じる町民の割合 3.66pt

自宅以外の居場所があると感じる町民の割合 2.71pt



## 【実現のための単位施策】

### ○生活の満足度向上

#### ●みんなが利用できる公園の整備<3-1-1>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
遊具の累計更新数	1基	3基	6基

#### ●快適な住まいの普及促進<3-1-2>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
快適住まいのリフォーム事業累計件数	327件	477件	627件

#### ●地域公共交通の確保<3-2-4>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
バス・ハイヤー利用助成申請率	25.3%	28.0%	30.0%

### ○相談窓口・関係機関の連携

#### ●心かよう地域福祉<4-3-2>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
「家族や友人・知人以外の相談相手」が「いない」割合	5.20%	低減	低減

#### ●障がい者福祉の充実<4-3-3>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
就労系サービス年間利用件数	52件	増加	増加

### ○多様性の尊重

#### ●地域コミュニティ推進<6-1-3>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
地域社会の関係への満足度	3.63pt	3.70pt	3.80pt

#### ●国際化への対応<6-2-3>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
外国人受入数	253人	280人	300人

### ○地域資源の活用

#### ●自然環境の保全と適正利用<1-1-3>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
利用者満足度アンケート	—	〇〇	〇〇

#### ●企業・産業連携と新たな事業の育成支援<2-4-3>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
町民アンケート調査による新規産業育成満足度	2.54	2.70	2.80

## 重点政策 5

## <人材確保>

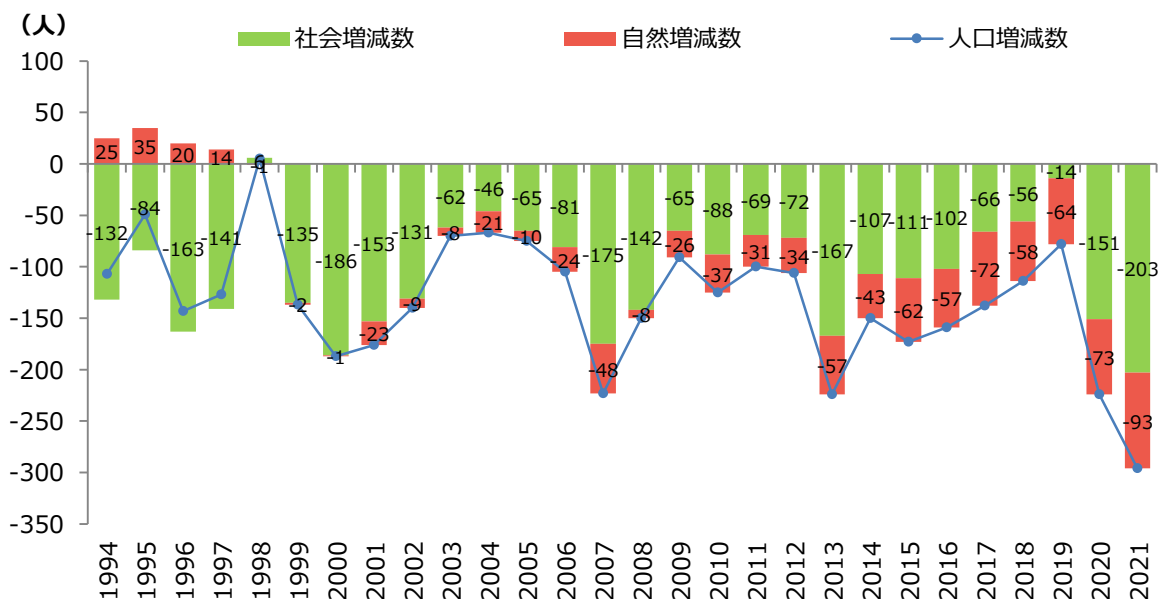
# 関係人口の創出で、魅力あふれる地域づくり

### 【現状と課題】

総人口の減少、特に生産年齢人口の減少の進展とともに、農業・漁業・観光業・介護・医療・サービス業などあらゆる産業での人手不足が顕著になり、産業分野における生産力の低下や、福祉サービスの制限、コミュニティ活動の維持が困難になるなど深刻な課題になると予想されます。

このような状況のなかで持続可能なまちを構築するためには、移住・定住施策やその基盤となる関係人口の創出に向けた取り組みを官民一体となって進めると同時に、多様な価値観を受け入れ、住みよい地域をつくる必要があります。

### 【主要関係データ】



### 【達成目標】

社会増減数の減少幅を、1年あたり50人改善

<説明>

直近10年間(2012-2021)では、1年あたり社会増減で105人の減、自然増減で61人の減となっています。毎年50人規模の移住・定住者の受け入れを行い、社会増減による減少幅を半減させることで、緩やかな人口減少と年齢構成のバランス維持による持続可能な地域の実現を目指します。

## 【実現のための単位施策】

### ○推進体制づくり

#### ●移住支援体制の強化<6-2-2>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
移住情報サイトアクセス数	4,630 件	5,000 件	6,000 件
移住相談件数	6 件	12 件	20 件

### ○住環境の整備

#### ●住宅改修関係補助制度の推進<3-1-2>

#### ●空き家・空き地の利活用<3-1-3>/空き家・空き地の利活用<6-2-2>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
快適住まいのリフォーム事業累計件数	327 件	477 件	627 件
空き家が活用された件数	0 件	5 件	10 件

### ○町内職場で働くことに関する支援

#### ●就労・起業の支援<2-5-1>

#### ●国際化への対応に向けたニーズの把握<6-2-3>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
外国人受入数	253 人	280 人	300 人

### ○企業や大学、多様な人材など外部との交流と連携の推進

#### ●企業連携や産業連携の促進<2-4-3>

#### ●多様な交流の推進<6-2-1>

### ○エリアブランディングの推進

#### ●エリアブランディングの推進<2-5-2>

## 【関連する主な計画】

○デジタル田園都市国家総合戦略(仮称)(R5-R9)

○空き家等対策計画(R4-R12)

○東オホーツク定住自立圏共生ビジョン(R4-R7)

## 重点政策6 <公共施設マネジメントと財政>

# 公共施設等への投資と財政運営の バランスがとれた地域づくり

### 【現状と課題】

町内の多くの公共施設や水道、道路などのインフラ施設は高度成長期に建設されたものが多く、今後、老朽化の進行が進み、さらに人口の減少に伴う影響を受けることになります。このため、長寿命化や機能の統合などを行いながら、コンパクトで魅力的なまちづくりに向けた投資を行っていく必要があります。

これらをバランスよく進めるために、計画的な公共施設マネジメントと、財政運営の基盤となる財源の確保を積極的に進め、持続可能なまちを目指します。

### 【主要関係データ】

公共建築物総量

財政調整基金残高

### 【達成目標】

- ①2040年度の公共建築物の総量(延べ床面積)を2015年度比の80%まで削減する(⇒2032年の数値目標へ)
- ②2031年の財政調整基金残高を15億円以上に維持します。

<説明>

人口減少や少子高齢化、町民のニーズやライフスタイルの変化に対応し、設置時に求められていた機能がニーズに合わなくなった施設は整理統合することで、施設の再編と供用廃止を含めた総量の削減を図ります。

また、町の貯金となる財政調整基金残高は、財政の健全性維持のため、現状(令和4年度残高)の約75%となる15億円以上を確保します。

## 【実現のための単位施策】

### ○インフラの老朽化への対応

- 農業水利施設の長寿命化<2-1-2>
- 町道整備の加速化<3-2-1>
- 施設の老朽化対策<3-2-3>
- 無水地区の安定供給<3-3-1>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
舗装再整備率(再整備延長/簡易舗装延長)			
橋梁補修率(補修着手数/補修必要橋梁数)			

### ○計画的な公共施設マネジメント

- 設備の維持管理<3-1-1>
- 公営住宅の整備の推進<3-1-2>
- 斎場の長寿命化<3-2-6>
- 学校施設の計画的な整備<5-1-2>
- 教職員住宅の計画的な整備<5-1-2>
- 快適な施設の利用と空間<5-2-1>
- 計画的な施設整備<5-2-3>
- 公共施設の最適化推進<5-1-2>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
町営住宅の建て替え、改修の棟数及び戸数	56棟、521戸	56棟、521戸	56棟、489戸
公共施設の再編、統合数(累計)	3	5	8

### ○町の財政基盤の強化

- 事業運営の効率化<3-3-3>
- 下水道経営の健全化<3-3-3>
- 経営の安定化と医療設備の整備<4-1-2>
- 町税等の収納率向上<6-3-4>
- ふるさと納税の拡充<6-3-4>
- 企業版ふるさと納税の充実<6-3-4>
- 宿泊税の導入<6-3-4>

	当初数値 R4	中間数値 R9	目標数値 R14
町税収納率	99.74%	現状維持	現状維持
企業版ふるさと納税	9,254千円	現状維持	現状維持
返礼品付きふるさと納税	165,866千円	600,000千円	600,000千円

## 【関連する主な計画】

- 斜里町公共施設管理計画(H28-R22)

- トンネル長寿命化修繕計画(R4-R13)
- 橋梁長寿命化修繕計画(R1-R10)
- 道路管理計画(H26-R5)
- 斜里町公営住宅等長寿命化計画(R2-R11)
- 斜里町水道老朽管更新計画(R7-R16)
- 斜里町公共下水道ストックマネジメント計画(R3-R7)
- 斜里町国民健康保険病院経営強化プラン(R6-R9)
- 斜里町行政改革実施計画(R6-R10)